

横浜市政記者、横浜ラジオ、テレビ記者 各位

## 桜木町・野毛創造界限づくり

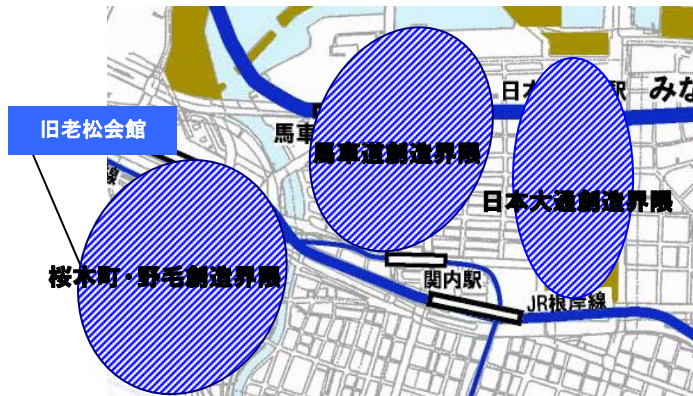
# 舞台芸術の創造・交流拠点 運営団体を公募

—旧老松会館の運営団体公募、今週末に説明会を実施—

横浜市は、結婚式場として役割を終えた旧老松会館を転用し、舞台芸術を中心とした幅広い芸術活動の創造拠点として、また、地域とアーティストが交流する拠点として活用するため、施設運営を行う団体を公募します。**今週末(6/23, 25)に、現地で公募説明会を開催**します。

### ねらい

- 舞台芸術の創造を支援するための環境整備
- 桜木町・野毛エリアで、創造・育成機能の強化を行い、文化芸術による地域の活性化、にぎわいづくりに繋げる創造界限の形成



### 背景

○文化芸術創造都市の一環として、都心部で既存施設を活用しアーティスト等が、様々な文化芸術活動を行う界限を形成することにより、地域の活性化を目指す「創造界限づくり」を展開しています。

○特に、馬車道、日本大通り、桜木町・野毛の3地区において、建物を転用することで、アーティスト等が活動しやすい豊かな創造空間、拠点づくりを官民協働で進めています。

○創造界限づくりを推進するために、創作、発表、滞在(居住)が一定エリアで活発に行われることが必要になっています。ここ数年の取り組みの中で、アーティストから長期利用が出来る舞台芸術の稽古場の要望が増えています。

公募概要 →裏面参照

# 公募の概要

舞台芸術創造拠点〔旧老松会館〕(仮称) 運営団体公募要項

## 1 施設概要

- (1) 名称 : 旧横浜市老松会館 (西区老松町 26 番地の 1)
- (2) 構造規模 : SRC 造地下 1 階地上 3 階建の一部、のべ床面積 1498 m<sup>2</sup>
- (3) 主な施設 : 多目的ホール、スタジオ、会議室、和室等

- 2 運営期間 平成 18 年 10 月～平成 21 年 3 月までの 2 年 6 ヶ月間。  
(ただし、運営実績を評価し、最大 2 年間の延長が可能)

- 3 施設目的 舞台芸術の創造を支援する環境整備を行い、
- ① 舞台芸術を中心とした幅広い芸術活動の創造拠点、および
  - ② 地域とアーティストの交流拠点 とする。

舞台芸術の創造環境を充実させ、作品制作やアーティスト育成の基盤を充実、また、桜木町・野毛界隈で培われた文化発展、まちづくりの一助としたい。

## 4 選考方法

- (1) 方式 公募プロポーザル方式により、提案を選考委員会が選考。  
応募多数の場合、一次選考を実施します。

### (2) 選考委員会

奥山 緑 (世田谷パブリックシアター 制作課長)  
加藤 種男 ((財) 横浜市芸術文化振興財団 専務理事)  
黒川 典功 (横浜市立老松中学校 校長)  
佐竹 修 (県民共済みらいホール 館長)  
久野 敦子 ((財) セゾン文化財団 プログラムディレクター)

## 5 応募資格対象

舞台芸術分野への理解や関心のある、公益法人・特定非営利活動法人 (NPO 法人) など非営利の団体。(個人、営利団体は不可)

舞台芸術の育成・支援を行う団体で、街と一緒に文化芸術を通じた街づくりを担っている団体に運営を任せたい。

## 6 募集要項配布

平成 18 年 6 月 20 日 (火) から  
横浜市開港 150 周年・創造都市事業本部創造都市推進課で配布します。  
また、下記ホームページからダウンロードできます。  
<http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/kaikou/souzou/index.html>

## 7 公募説明会

6 月 23 日 (金) 午後、25 日 (日) 午前の 2 回、現地にて開催。  
事前申込 6 月 23 日 (金) 正午まで

- 8 提案書類の受付 7 月 21 日 (金)、24 日 (月) の 2 日間

- 9 問い合わせ先 開港 150 周年・創造都市事業本部創造都市推進課 電話 045-671-3504